
Continuing Professional Development (CPD)

July. 2018

**The Institution of Professional Engineers, Japan
(IPEJ)**

Requirement of CPD

The amendment to the PE Act was promulgated on April 26, 2000.

The PE Act with the latest revisions clearly stipulates that every professional engineer shall have sufficient knowledge about professional ethics and shall continue his/her professional development, after acquiring the P.E.Jp qualification.

This is one of his/her obligations, which is to improve his/her competence of the professional skills.

In response to the amended PE Act, IPEJ started implementation of CPD programs and defined the purpose of CPD as follows:

Every P.E.Jp shall continue his/her professional development with emphasis on the following points:

- Awareness of engineering ethics**
- Contribution to the advancement of science and technology**
- Adaptation to changes in social environments**
- Improvement in the ability to make better decisions as professional engineers**

Expected CPD hours

It is strongly recommended that every certified P.E.Jp engineer completes at least 50 hours of CPD programs annually, and 150 hours within three years (for APEC engineers, the completion of 250 hours within five years is required).

CPD hours are calculated by multiplying the actual hours spent for CPD program with a weight factor specified for each CPD type.

**Types of CPD programs for Professional Engineers:
Many types of CPD programs are available, and every P.E.Jp should voluntarily choose the programs most suitable for his/her professional development and complete these chosen programs. However, in the case of choosing a CPD program, it is desirable for each P.E.Jp to select such CPD programs, which are recognized by any third party organizations.**

General aim and background to the CPD

- Pursue Code of Ethics
- Contribute to Science and Technology
- Adapt to changing circumstances
- Improve engineering judgment

General aim and background to the CPD

1. P.E. Act Article 47-2

Responsibility to improve the capability of professional engineers

2. IPEJ's Articles of Incorporation Article 4 (2)

Matters concerning to enhance competencies

3. Code of Ethics 10.

PEs to improve professional competence and knowledge

4. Declaration of Professional Engineers

Responsibility to maintaining professional competence



CPD Activities

General aim and background to the CPD

■ Professional Engineer Act

Chapter IV : Obligation of Professional Engineer

Article 47-2

(Responsibility to improve the capability of professional engineers)

Professional engineers shall at all times endeavor to improve their level of knowledge and skill with regard to his/her business, and endeavor to do self-improvement.

General aim and background to the CPD

■ IPEJ's Articles of Incorporation

Article 4 (Business)

In order to achieve the purpose of the preceding article, we may carry out following activities:

(2)Matters concerning to enhance competencies of P.E.s

General aim and background to the CPD

■ Code of Ethics for Professional Engineers, Japan

10. (CPD) Endeavor to improve our professional competence and knowledge in social affairs related to engineering and to nurture human resources.

General aim and background to the CPD

■ Declaration of Professional Engineers

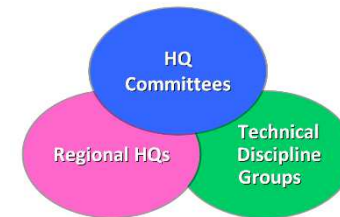
< Principles of conduct >

1. Responsibility to maintaining professional competence:

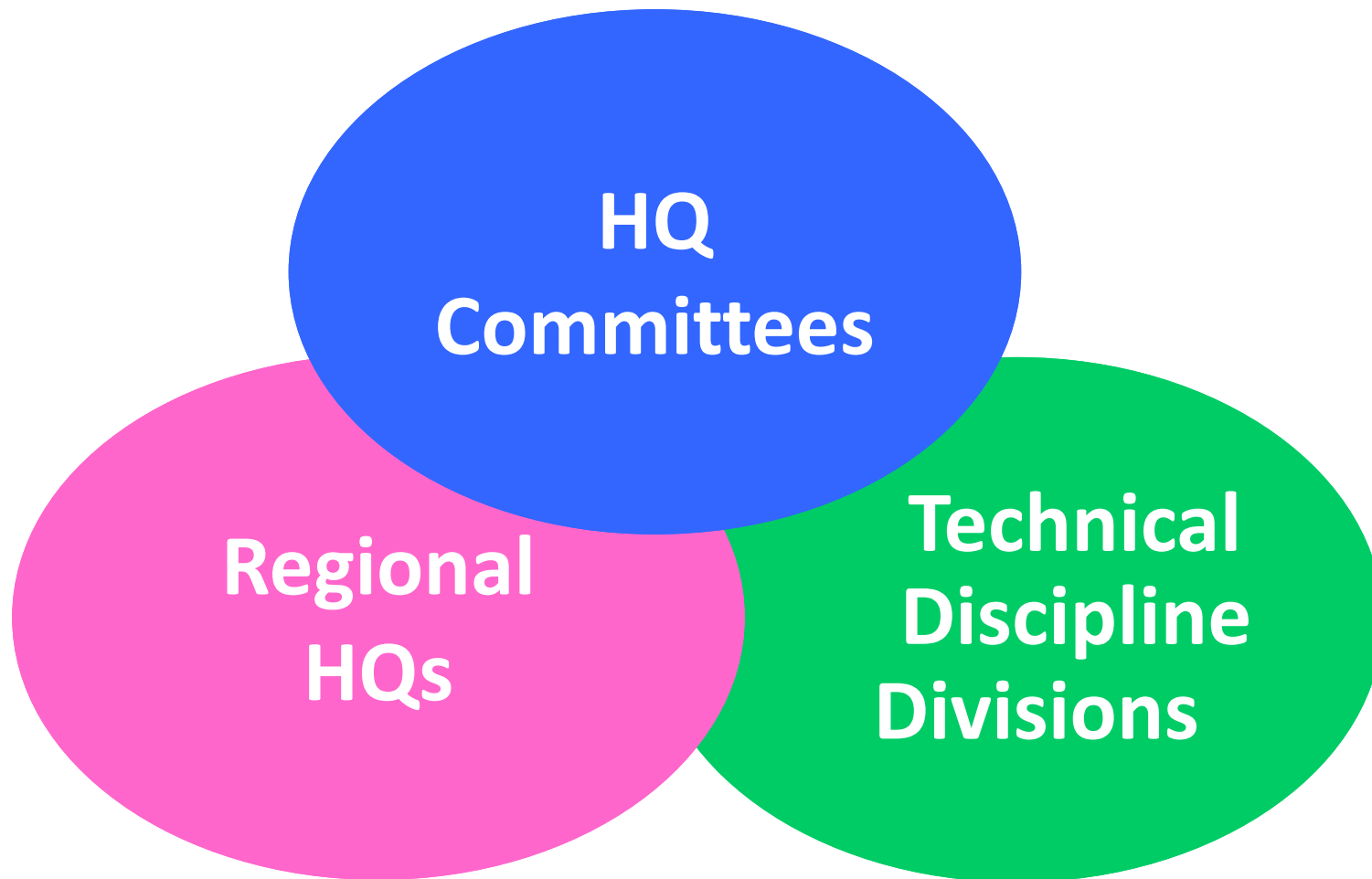
Professional Engineers shall maintain knowledge and ability required as high-grade experts of technology and to follow the progress of technology.

Typical CPD providers

- IPEJ (HQ Committees, Regional HQs, Technical Discipline Divisions)
- Academic Societies
- Engineering Institutions
- Industrial Associations
- Public R&D Institutions
- Universities
- Private Sectors
- Each work place (In-house training, OJT)

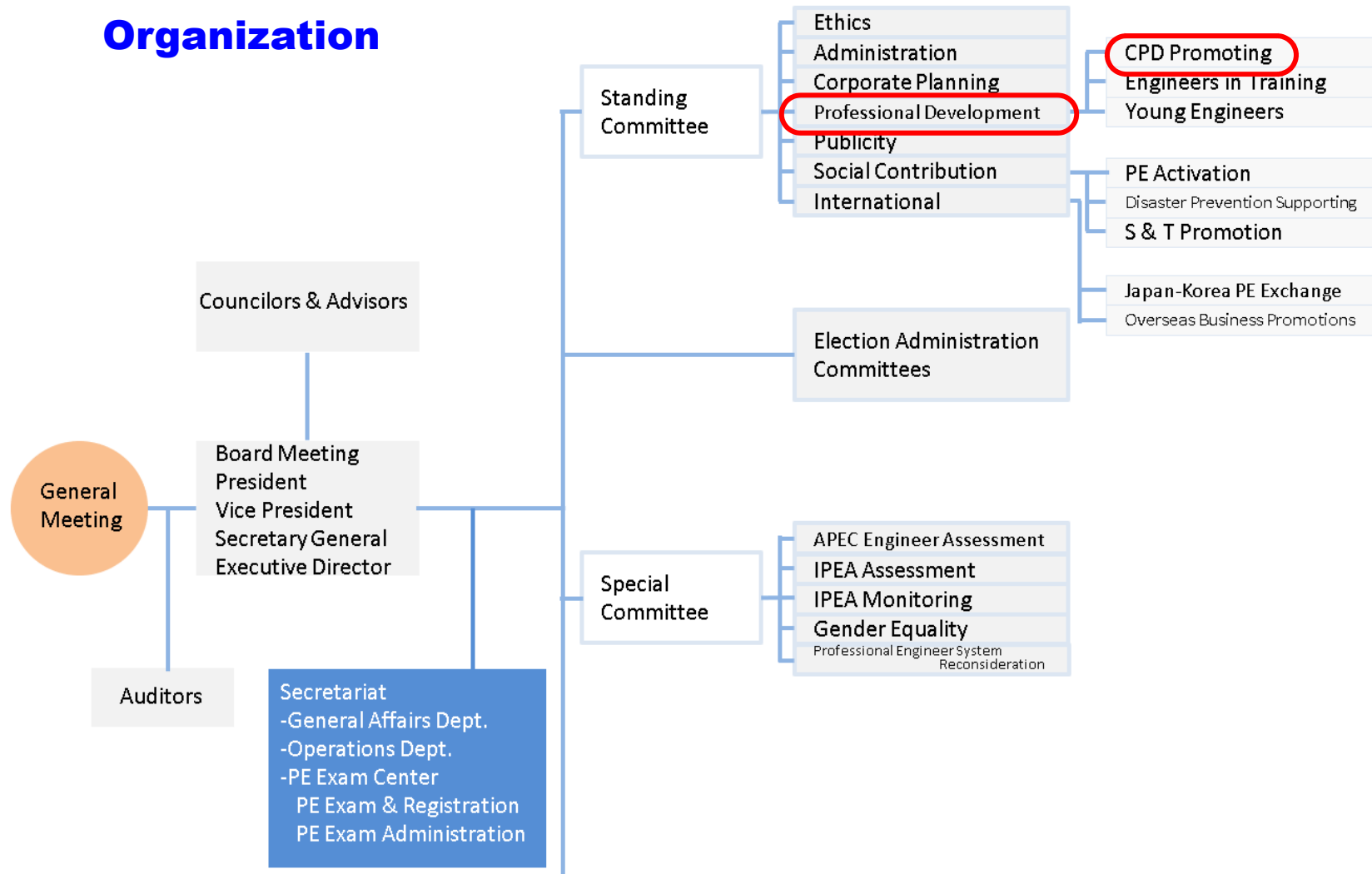


Structured approach to CPD

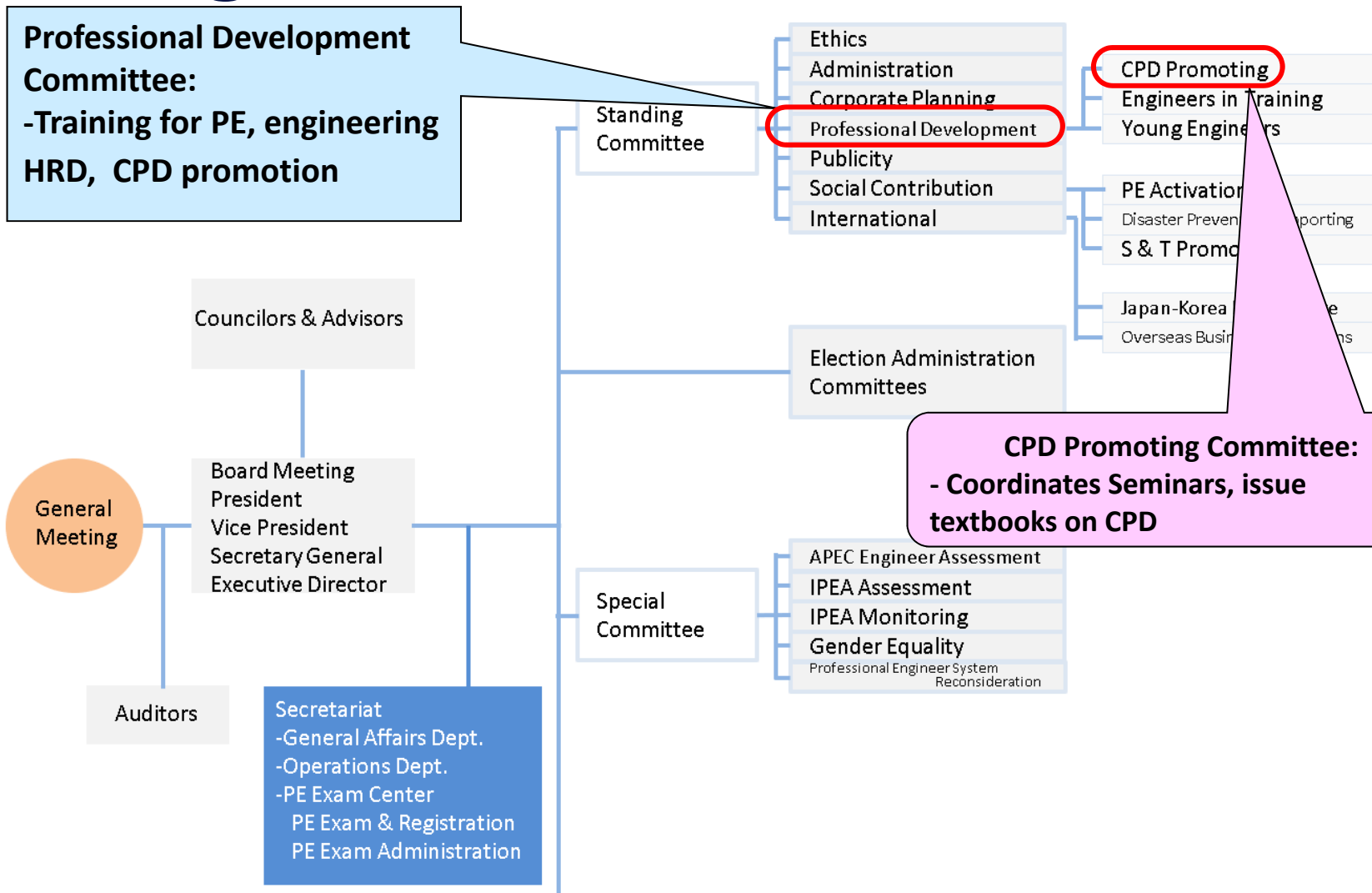


Organization to Promote CPD

Organization

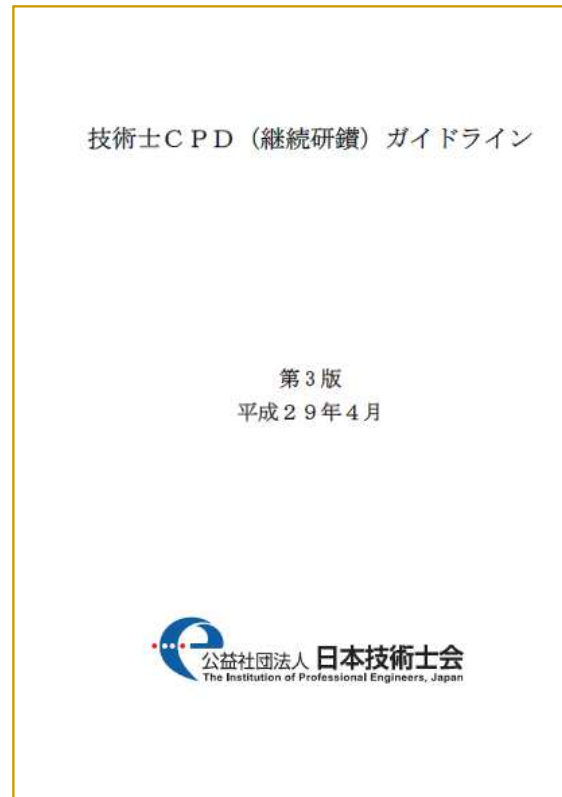


Organization to Promote CPD



CPD Guideline

- Issued by Professional Development Committee of IPEJ
- Available from IPEJ website
(Japanese version only)
- 3rd Edition was issued in April, 2017



CPD Guideline, 3rd Edition

■ 技術士CPD登録証明書

正会員・非会員に問わず申請に際した期間の「技術士CPD登録証明書」を発行します。発行にあたっての手続き等は次のとおりです。

- ① 登録証明の対象期間は、過去5年分までとする。
- ② 証明書の発行は、WEB登録されたCPD記録を基本とする。
- ③ 証明書は、対象期間のCPD時間の合計、並びにその内訳の課題毎のCPD時間の合計及び実施形態毎のCPD時間の合計を記載する。
- ④ 証明書の発行は、日本技術士会ホームページからのWEB申請により発行する。
- ⑤ CPD登録実績がWEB登録でない場合は、登録証明書を発行しない。
- ⑥ 記録内容は「CPDの実施形態と時間重み係数(CPDWF)及びCPD時間の関係」に基づくものとする。
- ⑦ 記録内容の審査のために、依頼から発行までに2週間程度必要である。ただし、審査での質疑応答及び修正時間は含まない。

●発行にあたっては、CPD記録の内容審査を行います。

■ 技術士CPD認定会員制度

日本技術士会は、CPD制度の推進のため、平成18年3月から技術士CPD認定会員制度を定立させました。

本制度は、日本技術士会正会員（技術士）が一定以上の継続研鑽を重ねていることを証明し、社会的に活用されることを目的として、正会員本人からの申請により、公益社団法人日本技術士会CPD認定会員であることを認定するものです。認定の証として認定会員証（文書とカード）を交付し、日本技術士会HPの「CPD認定会員一覧」コーナーにおいて氏名等が公表されます。また、WEB会員名簿でCPD認定会員であることを表示します。なお、認定の有効期間を3年間とし、引続き認定を求められる場合は更新申請が必要となります。

CPD認定会員の条件は次のとおりです。

- ① 正会員で会費が未納でないこと
- ② CPD実績の登録は、WEB登録とし、原則CPD実施後3か月以内に登録すること
- ③ 申請時点で以下の条件をすべて満足していること
 - ・過去3年度間で150CPD時間以上の実績があること
 - ・過去3年度間において、各年度30CPD時間以上の実績があること
 - ・過去3年度間において、少なくともA一般共通課題が2項目、B技術課題が1項目の実績があること
 - ・過去3年度間において、実施形態の10形態のうち、少なくとも3形態の実績があること
 - ・記録内容が、「CPDの実施形態と時間重み係数(CPDWF)及びCPD時間の関係」に基づいていること
- 認定会員の認定申請（新規・更新）にあたっては、上記③が満たされているか、CPD記録の内容審査を行います。
- なお、年1回、認定会員の中から無作為に抽出し、上記③が満たされているか、CPD記録の内容審査を行います。

■ 技術士CPDの登録・証明書の発行等の手数料

項目	区分	手数料	
技術士CPD登録	WEB登録	正会員	無料
		非会員	8,000円/年度 (リソースの再発行は無料)
	文書登録	正会員	1,000円/年度
		非会員	10,000円/年度
CPD登録証明書(WEB登録)	正会員	1,000円/部 ※0	
	非会員	5,000円/部 ※0	
CPD認定会員(WEB登録)	正会員	3,000円/回	

注1) CPD記録シートを添付する場合は合計1,500円/部
注2) CP記録シートを添付する場合は合計7,000円/部

公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan

2018年1月に下記へ移転
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 継続研鑽会館
TEL.03-3459-1331 FAX.03-3459-1338

技術士CPDガイドライン(第3版)
2017年4月



技術士CPD登録証明書の本見



CPD認定会員証(カード)の本見

「技術士の資質の向上」を目指した Continuing Professional Development

技術士CPD

平成29年4月1日から 技術士CPDガイドライン(第3版)が適用になります!

平成12年の技術士法の改正により、技術士の資質向上を図るため、資格取得後の研鑽が技術士の責務として明文化されました。これを受けて、日本技術士会では、平成14年度から「技術士CPD(継続研鑽)」を推進しています。近年、技術士CPDが対外的に評価を受ける機会が増えています。そのため、日本技術士会では、技術士CPDの信頼性の確保とCPD登録実績記録に基づく技術士CPD登録証明書の質を担保するため、「技術士CPDガイドライン」を策定しています。この度、技術士CPDの信頼性の向上を図るとともに、より多くの技術士が技術士CPD登録に参加できるように技術士CPDガイドラインの改定を行いました。改定された技術士CPDガイドライン(第3版)は平成29年4月1日以降の登録に適用されます。今回の改定の趣旨をご理解いただき、多くの技術士が研鑽に励まれ、ガイドラインに基づいた技術士CPD登録されることを期待しています。

今回の主な見直し

- 技術士会が認定するeラーニングの履修を、CPD時間10時間を上限に自己学習の別枠として認める。
- 技術士の「Pe-CPD」に収録されている講演会等を活用して地域本部等が開催する講演会等、講習会への参加(実施形態1)として認める。
- 時間重み係数を論文口頭発表は3から5に、大学・学協会等の研修講師は2から3とする。
- 多様な自己学習他の内容を具体的に明示し、時間重み係数を1から0.5とする。
- その他「技術士CPDの実施形態と時間重み係数及びCPD時間の関係」を改定する。

CPD記録の登録にあたっては、必ず「技術士CPDガイドライン(第3版)」(平成29年4月)をご買いただき、簡潔に分かり易い内容で登録してください。特に、CPD記録は、業務や活動記録を登録するものではない点を念頭に、技術士CPDとしてふさわしい内容のCPD登録が、技術士CPD制度の社会的信頼を高める第一であることをご理解のうえ、継続研鑽に励み、CPD登録をお願いします。

技術士CPD(継続研鑽)制度

平成13年より、技術士の資質向上を図るためCPDの実施が技術士の責務として位置づけられています。

■ CPDの目的

技術士は、高等の専門的応用能力を有した技術者として、次のような視点を重視したCPDに努める必要があります。

- ① 技術者倫理の徹底
- ② 科学技術の進歩への関与
- ③ 社会環境変化への対応
- ④ 技術者としての判断力の向上

■ CPD時間の目標

- 目標として年平均50CPD時間、3年間に150CPD時間のCPD実施が望まれます。
- CPD時間は、CPDに実際に要した時間に、CPDの内容を助成した時間重み係数(CPDWF)を考慮します。(CPD時間×実時間×CPDWF)
- APEC エンジニアは更新期間の5年間に250CPD時間が必要とす。
- CPD認定会員は、直近の3年間で150CPD時間以上登録していることが必要です。

■ CPDの課題及び実施形態

技術士には、CPDの目的に適したものを自主的に選択して実行することが求められます。自分の置かれている立場を考慮して、CPD課題とCPD実施形態をバランス良く実施するとともに、計画的な実施を心掛けてください。CPDの課題と実施形態については、「CPDの課題区分と項目」「CPDの実施形態と時間重み係数及びCPD時間の関係」の表をご参照ください。

■ CPDの記録・登録

- CPD記録の登録は、日本技術士会のホームページからWEBで随時登録(入力)ができます。
- ID・PWを取得してください。日本技術士会会員の方は、会員ID・PWを使用してください。
- 未入会の技術士の方は、手数料がかかります。
- 文書登録の手続きについては、日本技術士会ホームページをご覧ください。(可能な限りWEB登録をお願いします)

CPD Guideline, 3rd Edition

CPDの課題区分と項目

課題区分	課題項目	内 容
A 一般共通課題	1.倫理	倫理規程、職業倫理、技術倫理、技術者倫理 (技術の人類社会に与える長期的、短期的影響の評価を含む技術士に課せられた公益性確保の責務等)
	2.環境	地球環境、環境アセスメント、地域環境、自然破壊等の環境課題の解決方法等
	3.安全	安全基準、防災基準、危機管理、化学物質の毒性、製造物責任法(PL法)等
	4.技術動向	新技術、情報技術、品質保証、規格・仕様・基準(ISO、IEC)等
	5.社会・産業経済動向	国内・海外動向(国際貿易動向、GATT/WTO、ODA など)、商標協定並びに技術に対するニーズ動向、内外の産業経済動向、労働市場動向等
	6.マネジメント手法	工程管理、コスト管理、資源管理、維持管理、品質管理、プロジェクト管理、MOT、リスク管理、知財管理、コミュニケーション管理等
	9.契約	契約契約、国際的な契約形態等
	10.国際交流	英語によるプレゼンテーション、コミュニケーション、海外(学会・専門誌)への論文・技術文書の発表・掲載、国際社会の理解、各国の文化及び歴史等
	11.その他	教育(科学技術史など)、一般社会との関わり等、及び上記1～5.8～10に含まれないもの
	B 技術課題	10.国際交流
2.科学技術動向		専門分野、科学技術政策、海外の科学技術動向等
3.関係法令		業務に関連する法令(特に改正時点)
4.事故事例		同様な事故を再び繰り返さないための事例研究(ケーススタディ)及び事故解析等
5.その他		上記1～4に含まれない技術関連事項等

*A～一般共通課題の6及び7は、項目を統合したので欠番です。

CPDの実施形態と時間重み係数(CPDWF)及びCPD時間の関係

実施形態	内 容	登録コード	CPDWF時間重み係数	CPD時間(計算方法)	CPD時間(上限/件)	CPD時間(上限/年度)
1.講習会、研修会、講演会(シンポジウム、研究会等への参加(講師))	日本技術士会、大学、関係学会(学術団体、公認法人を含む)、民間団体及び企業が主催するもの 注1)CPDの内容として①演題、②講師名(所属)、③要旨、④所要等を記述する(WEB登録の場合、256文字以内) 注2)遠隔地で開催されている講演会を、Webを利用して視聴中継の機能を使用した場合は、形態「1」で計上できる(日本技術士会が認定するeラーニングの自発、海外中継放送等での視聴は形態「6」(登録コード51)で計上) 注3)企業内で開催するeラーニングに基づく研修等に対する技術研修への参加は形態「8」(企業内研修)で計上する 注4)企業内で開催するeラーニングに基づく研修等に対する技術研修への参加は形態「8」(企業内研修)で計上する 注5)講演会等においては、発表時間等の外観時間はCPDとして計上しない(主催者が指定するCPD時間若しくは実時間のみ計上する) 注6)参加・聴講への参加は計上しない(聴取等が主たる場合のみ実時間のみ計上する) 注7)資格取得のための受講時は計上せず、取得時に形態「6」で計上する(資格更新のための受講は形態「1」で計上できる) 注8)2日以上連続して受講した場合は、1日ごとに計上する 注9)10)表の一般共通課題または技術課題にない講習会、研究会参加等は計上できない	100	1	1×H H:実時間	—	—
	(2)日本技術士会、学協会、民間団体等が発行する技術関係の研修会等 学術雑誌への意図的技術論文 上記以外	221	2	2×H H:作成時間	30時間/件	—
2.論文・報告文などの口頭発表(掲載・発表)	(3)日本技術士会、学協会、民間団体等が発行する学術誌、技術誌等の論文、報告文の掲載等 (4)日本技術士会、学協会、民間団体等が発行する学術誌、技術誌等の論文、報告文の掲載等	222	1	1×H H:1ページ×0.25H	10時間/件	—
	(5)日本技術士会、学協会、民間団体等が発行する学術誌、技術誌等の論文、報告文の掲載等	231	1	1×H H:1ページ×0.25H	5時間/件	—
3.企業内研修(受講)	注1)口頭発表時間は実時間×5で計上し、他の受講時間は形態「1」で計上する 注2)論文等は掲載、ページ数、内容(キーワード等でも可なりすく)を記載する 注3)発表の形態は本人の意向で実時間として計上する 注4)口頭発表のための予備席、パワーポイント等の説明資料の作成は計上しない 注5)同一内容について別の場で発表した場合、一部のみ計上し、2回目以降は計上しない 注6)論文作成したものを口頭発表する場合は、(1)、(2)をそれぞれ別々に計上する 注7)展示会ポスターセッションの説明は、形態「6」で計上する 注8)企業、民間団体等が発行する技術誌は、広く発行されているものに限る	300	1	1×H H:実時間	—	30時間/年度
	注1)CPDの内容は①研修プログラム名、②演題、③講師名(所属)、④要旨、⑤所要等を記述する(WEB登録の場合、256文字以内) 注2)業務に密接に関連する社内会議等は計上しない 注3)資格取得のための企業内研修等は計上せず、資格取得時に形態「6」で計上する 注4)企業における学術研修は計上できる	411	3	3×H H:実時間	—	25時間/年度
4.研修会・講習会などの講師・講習指導者指導	(1)日本技術士会、大学、学協会、民間団体、企業等の主催する研修会、講習会、技術関係の研修会、研究会等 ①中小企業での理科教育の講師 ②企業での講師 (2)講習指導者等に対する具体的な技術指導(業務ガイドブックに示す「基本研修課程」専門技術力、業務遂行能力、行動原則)に該当するものに限る	412	1	1×H H:実時間	—	15時間/年度
	(3)講習指導者等に対する具体的な技術指導(業務ガイドブックに示す「基本研修課程」専門技術力、業務遂行能力、行動原則)に該当するものに限る	420	1	1×H H:実時間	—	15時間/年度

実施形態	内 容	登録コード	CPDWF時間重み係数	CPD時間(計算方法)	CPD時間(上限/件)	CPD時間(上限/年度)
5.業務の技術的な評価	(1)業務上で技術的成果をあげたグループ及び個人(本人)が受けた表彰(注1、2、3、4)	511	1	1×H H:該当時間	20時間/件	—
	企業の代表者からのもの	512	1	1×H H:該当時間	10時間/件	—
	(2)特許出願(発明者に限る)(注5、6)	521	1	1×H H:該当時間	40時間/件	—
	基本特許 周辺特許	522	1	1×H H:該当時間	15時間/件	—
6.その他	技術士の資質向上に役立つものに限る	—	—	—	—	—
6-1 公的な技術資格の取得	政府機関等の認定あるいは承認する技術資格の取得	610	1	1×H H:該当時間	10時間/資格	20時間/年度
	注1)技術士第二次試験と同等の難易度の資格を除き5時間/資格を計上する 注2)資格の更新は計上せず、更新のための講習等は形態「1」で計上する 注3)技術資格でないがCPDに資する資格(試験等)の取得は、形態「6」で計上する 注4)学位取得は政府機関の認定する技術資格と同等なものとして計上する	—	—	—	—	—
6-2 公的な機関での委員会活動	地方公共団体、日本技術士会、学協会等の審議会・委員会委員(任期を過ぎた活動であるもの)	620	1	1×H H:会議時間/年度	10時間/会	—
	注1)委員会の名称、目的、自身の役割を明記する 注2)同一委員会内の小委員会、WG等も含めて計上する 注3)議会の活動として年報等にまとめて1年間単位で計上する 注4)議会の活動にのみ参加する場合は、形態「6」で計上する	—	—	—	—	—
6-3 大学・研究機関における研究開発技術開発業務への参加(国際機関などへの協力)	大学、研究機関等における研究開発技術開発業務への参加(国際機関などへの協力)	630	1	1×H H:参加時間/年度	20時間/件	—
	注1)業務上のICA技術協力等は計上しない(業務委託契約及び雇用契約での業務以外で、有償(委員等)としての参加に限って計上する) 注2)日常業務は計上できない、海外の現地技術者に対する指導・教育等で、それが日常業務でない場合は指導者の対象者、指導の目的、注3)JABEEおよびJPECCの認定を受けた大学、教育および国際協力への貢献として、10時間/年度を上限として計上できる	—	—	—	—	—
6-4 技術図書執筆	注1)技術図書の執筆は、技術的内容を明確に記述する(業務で作成した技術図書は含まない) 注2)出版社、図書、執筆タイトル、ページ数、執筆内容(キーワード)を記入する 注3)資格更新業務に関する図書は計上しない	641	1	1×H H:執筆時間	15時間/件	—
	注1)技術図書の執筆は、技術的内容を明確に記述する(業務で作成した技術図書は含まない) 注2)出版社、図書、執筆タイトル、ページ数、執筆内容をキーワードで記入する 注3)資格更新業務に関する図書は計上しない	642	1	1×H H:執筆時間	10時間/件	—
6-5 自己学習他	(1)日本技術士会が認定するeラーニング	651	1	1×H H:履修時間	—	10時間/年度
	(2)技術士のCPDに値すると判断されるもの ①自己研究(テーマ、内容)、②学協会等の機能 ③放送大学のTV授業 ④日本技術士会が認定していないeラーニング ⑤大学、大学院、職業訓練の受講 ⑥研究開発したeラーニング、eラーニング ⑦職業教育活動、⑧展示会への参加 ⑨情報誌の発刊、⑩個人誌の発行 ⑪企業内研修、⑫企業内研修 ⑬公的な審議会の傍聴 ⑭技術資格ではないその他の資格の取得(英検等、1資格5時間を上限とする)	652	0.5	0.5×H H:履修時間	—	10時間/年度
注1)日本技術士会が認定するeラーニングとは、日本技術士会の「Pe-CPD」に収録されている講習会および独立研究開発法人科学技術振興機構の「研究人材のためのe-learning」である 注2)日本技術士会が認定するeラーニングを履修した場合は、CPDの内容として必ず①演題、②講師名(または製作者)、③要旨、④所要等を100文字以内、256文字以内で記入する						

登録にあたっての注意事項

- 注1) 登録は、CPD行事参加要項の組織となるエディンズに基づき登録すること(エディンズの保持期間:5年間)
- 注2) CPDの内容が第三者に理解されるものに配慮すること
- 注3) 業務は計上せず、業務と区別が明確でないものも計上しない
- 注4) CPDが特定の課題項目や実施形態に属さないよう計上すること
- 注5) 実施形態及び内容は、各実施形態の注意事項を遵守すること
- 注6) 証明書の発行は、Web登録されたCPD記録(ログシート)画面の「表示」となっているものが対象である
- 注7) 年度若しくは件あたりの上限時間を超えて入力する場合はWEB登録の「表示」画面で選択欄を「非表示」とする(上限時間を超えている場合は、審査時に超過時間を差引く)
- 注8) CPD時間の登録方法

- 【例】CPD時間が1時間30分の場合)《WEB登録》時間30分 《文書登録》1.5時間
- 注9) CPD時間(時間)は、昼食等の休憩時間を除いて実質の時間を登録すること
- 注10) 年度とは、4月1日より翌年の3月31日の1年間とする

CPD Guideline

- Through CPD, you can expand your professional knowledge and skill, eventually enhance your professional competencies.
- What deserves your CPD depends on your situation.
- What to learn (Subjects)
- How to learn (Mode)
- Keep your CPD records for 5 years together with evidences.
- 150 CPD hours / 3 year, average 50 CPD hours/Year

CPD Guideline / What : Subjects of CPD

A : General subjects

- (1) Ethics
- (2) Environment
- (3) Safety
- (4) Technical trend
- (5) Social trends
- (6)-(7) Void -
- (8) Management systems
- (9) Contract
- (10) International Relations
- (11) Others

B : Technical subjects

- (1) Latest Engineering Topics
- (2) Trend of science and technology
- (3) Applicable laws
- (4) Accident case study
- (5) Others

CPD Guideline / How : Mode of CPD

1. Participation in training courses, lectures, technical meetings, symposiums, etc.
2. Presentation of papers
3. In-house training certificate, On the job trainee
4. Engineering Instructions
 - (1) Lecture on seminars
 - (2) Mentor to Associate Professional Engineers
5. Practical experience in industrial
 - (1) Award winning work
 - (2) Patent applications

CPD Guideline / How : Mode of CPD

6. Others

- (1) Acquisition of other technical certificate / license**
- (2) Act as public committee member**
- (3) R&D contributions to college, institutions ;
international corporation**
- (4) Writer on engineering subjects**
- (5) Self-learning**

CPD Guideline / How : Mode of CPD

Rubric for CPD Record Keeping

(1) Your business activity itself is not CPD.

(2) CPD Working Factor

(3) Maximum CPD hours

- No.1: Lectures : No particular limitations on max. CPD hrs to record.
- No.2-(1): Verbal presentation at IPEJ seminars etc CPDWF2, No limit is set.
- No.2-(2): Paper presentation CPDWF 2 but up to 30CPD hrs/paper (with peer review),
o/w up to 10CPD hrs/paper
- No.3 : Attended at in-house training : 30CPD hrs/FY
- No.4-(1):Gave lecture / seminars :25 CPD hrs/FY (held by college and institutions),
:15 CPD hrs/FY (held by private sector)
- No.4-(2):Technical instruction to Asso.PEs : 15 CPD hrs/FY
- No.5-(1):Prize-winning engineering job experience as a project manager : 20CPD hrs / project
- No.5-(2): Patent application : 40CPD hrs/app (Basic), 15CPD hrs/app (Peripheral)
- No.6-(1): Technical certificate / license: 20 CPD hrs/year
- No.6-(2): Public committee member:10 CPD hrs / Committee
- No.6-(3): R&D contributions / International corporation : 20 CPD hrs / project
- No.6-(4): Books on engineering: 15 CPD hrs / book (academic society), o/w 10 CPD hrs / book
- No.6-(5): Self learning : 10 CPD hrs / year

(4) Achievements

(5) Accountability

CPD Guideline

- If you want to count this seminar as your CPD ;

CPD
Title:
Cambodia 6
days seminar

5hrs/day x actual 4days
= 20 CPD hrs

Subject : A- (10)
International Relations
What

Mode : No.6-(3)
International corporation

CPD contents :
Made a verbal Presentation;
Joined discussion table
on Engineer mobility
How

Participation in training courses, lectures, technical meetings, symposiums, etc.

- Organized by IPEJ Committees, Regional HQs and Technical Discipline Divisions

CPD Executive Committee

1. Organize CPD programs.
 - 4 CPD main lectures (FY2015)
 - 5 CPD mini lectures (ditto)
 - 1 PE forum (ditto)
 - Engineering Ethics presentation
 - New year's Lecture
 - New members' orientation

2. CPD promotion



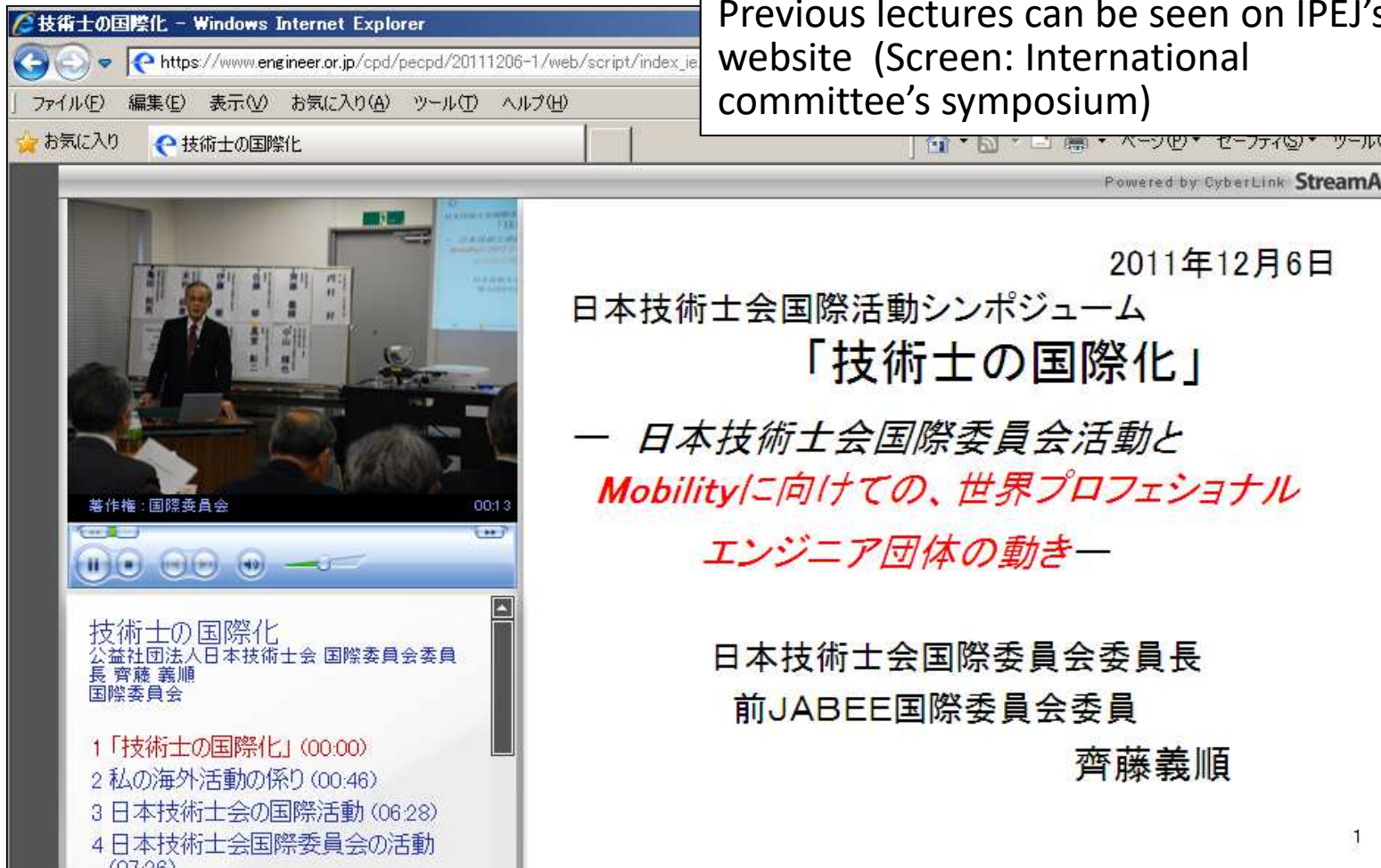
Participation in training courses, lectures, technical meetings, symposiums, etc.



Small and Medium Enterprises Exchange Forum ,
organized by Local Industries promotion Committee

Participation in training courses, lectures, technical meetings, symposiums, etc.

Previous lectures can be seen on IPEJ's website (Screen: International committee's symposium)



The screenshot shows a video player interface. On the left, a video frame shows a man in a suit presenting to an audience. Below the video is a control bar with play, stop, and volume icons. To the right of the video, the title and speaker information are displayed. At the bottom, a table of contents lists four video segments.

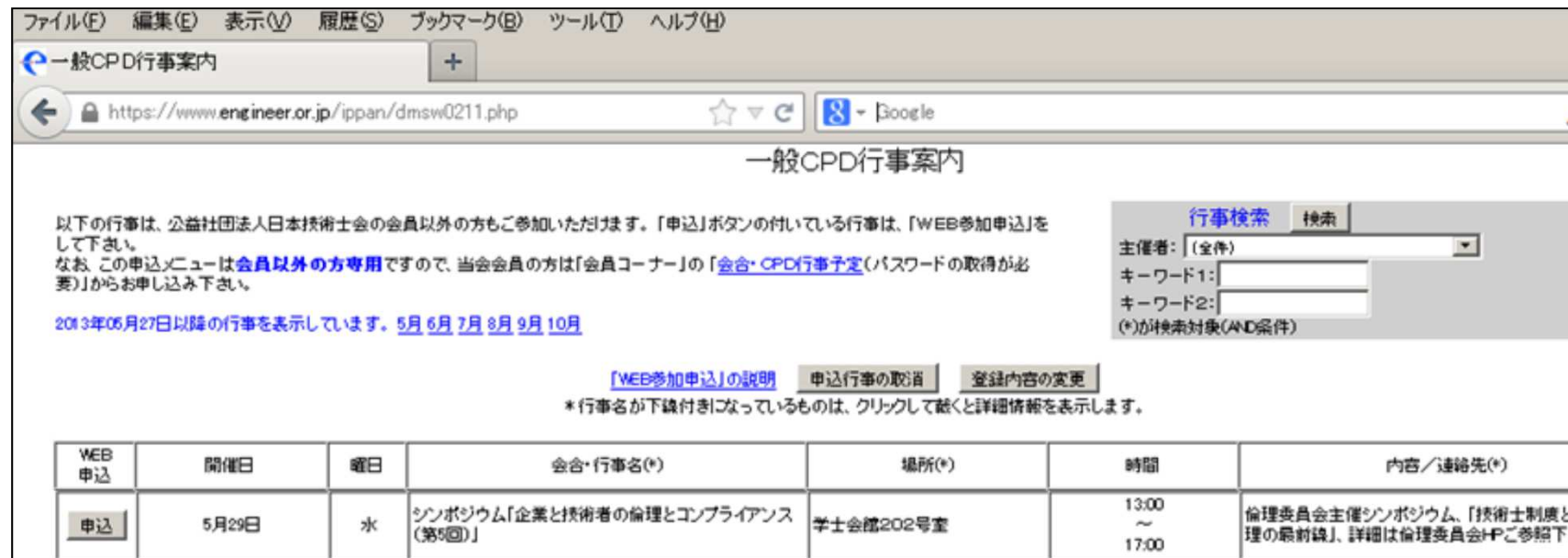
2011年12月6日
日本技術士会国際活動シンポジウム
「技術士の国際化」
— 日本技術士会国際委員会活動と
*Mobility*に向けての、世界プロフェッショナル
エンジニア団体の動き—
日本技術士会国際委員会委員長
前JABEE国際委員会委員
齊藤義順

技術士の国際化
公益社団法人日本技術士会 国際委員会委員
長 齊藤 義順
国際委員会

- 1 「技術士の国際化」 (00:00)
- 2 私の海外活動の係り (00:46)
- 3 日本技術士会の国際活動 (06:28)
- 4 日本技術士会国際委員会の活動 (07:26)

Participation in training courses, lectures, technical meetings, symposiums, etc.

On-line registration is available through IPEJ's website



以下の記事は、公益社団法人日本技術士会の会員以外の方もご参加いただけます。「申込」ボタンの付いている記事は、「WEB参加申込」をして下さい。
なお、この申込メニューは**会員以外の方専用**ですので、当会会員の方は「会員コーナー」の「[会合・CPD行事予定](#)（パスワードの取得が必要）」からお申し込み下さい。

2013年06月27日以降の行事を表示しています。 [5月](#) [6月](#) [7月](#) [8月](#) [9月](#) [10月](#)

[\[WEB参加申込\]の説明](#) [申込行事の取消](#) [登録内容の変更](#)

* 行事名が下線付きになっているものは、クリックして蔽くと詳細情報を表示します。

WEB 申込	開催日	曜日	会合・行事名(*)	場所(*)	時間	内容/連絡先(*)
申込	5月29日	水	シンポジウム「企業と技術者の倫理とコンプライアンス (第5回)」	学士会館202号室	13:00 ~ 17:00	倫理委員会主催シンポジウム、「技術士制度と 理の最前線」。詳細は倫理委員会HPをご参照下

Participation in training courses, lectures, technical meetings, symposiums, etc.

Collaboration with kindred organizations

Japan Federation of Engineering Societies

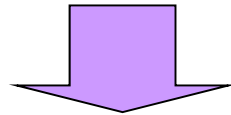
Japan Society of Civil Engineers

Japanese Society for Engineering Education

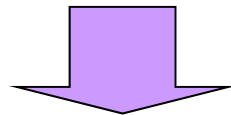
Japan Accreditation Board for Engineering Education

How to keep your CPD record

Registration for seminars / lectures,
and take other mode of CPD activities



Attend at seminars / lectures , Carry out self learning, etc



Fill in CPD record (CPD log sheet)
based on CPD Guidelines

How to keep your CPD record

CPD記録 (年 月 ~ 年 月) 技術士登録番号: 氏名:													
(APECIソシア登録番号: JP-1-) (/ 頁)													
No.	開始年月日 終了年月日	時	課題 (記号)	形態 (記号)	CPD名称	主催者等	CPDの内容	備考 (各学会等のCPD のコード番号等)	実 時間 [1]	重 み係 数 [2]	CPD 時間 (1)×(2)	CPD 時間 累計	APEC ゾーンA
1											0	0	
2											0	0	
3											0	0	
4											0	0	
5											0	0	
6											0	0	
7											0	0	
8											0	0	
9											0	0	
10											0	0	

**CPD log sheet
(Paper version:
Microsoft Excel Format)**

APECIソシア技術分野の記号(a: Civil, b: Structural, c: Geotechnical, d: Environmental, e: Mechanical, f: Electrical, g: Industrial, h: Mining, i: Chemical, j: Information, k: Bioengineering)

注) 課題項目別のCPD時間累計を記入して下さい。

A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	A-9	A-10	A-11
A小計			B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B小計		合計
0								0		0

注) 形態区別のCPD時間累計を記入して下さい。

1	2	3	4	5	6-①
6-②	6-③	6-④	6-⑤	合計	
				31 31	

How to keep your CPD record

The screenshot shows the homepage of the Japanese Institute of Professional Engineers (公益社団法人 日本技術士会). The browser window title is "トップページ | 公益社団法人 日本技術士会 - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows "http://www.engineer.or.jp/". The main navigation menu includes "一般の方", "受験者の方", "第一次試験合格者", "JABEEコース修了者", and "技術士の方". A search bar is located in the top right corner. The main banner features the text "豊かな未来を切り開く技術士と共に!". The left sidebar contains a menu with "日本技術士会のご案内", "試験・登録情報", "修習技術者", "技術士CPD" (highlighted with a red circle), "JABEEエンジニア", "EMF国際エンジニア", "会員コーナー", "English", and "お知らせ". The main content area is titled "最新情報" and lists several news items with dates and titles. The right sidebar contains a login section for members, a section for "技術士ビジョン21", "技術士プロフェッション宣言", and "技術士倫理綱領". The bottom of the page shows a "Pe-CPDシステム" logo and a system tray with the date "32 32".

公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan

文字サイズ 小 中 大 Google™カスタム検索 検索

CPD log sheet (Web version)

豊かな未来を切り開く技術士と共に!

日本技術士会のご案内

試験・登録情報

修習技術者

技術士CPD

JABEEエンジニア

EMF国際エンジニア

会員コーナー

English

お知らせ

支部・部会・委員会

最新情報

- 2011.10.3 千葉県での地域組織説明会の申込FAX番号訂正
- 2011.9.26 役員候補者選出選挙管理委員会からのお知らせ
- 2011.9.15 第24回修習技術者研修セミナー開催について
- 2011.9.9 平成23年度 技術士第一次試験筆記試験会場について
- 2011.8.30 日本技術士会創立60周年記念大会 第38回技術士全国大会(東京)の開催の報告と御礼
- 2011.8.9 第41回日韓技術士会議(大邱)
- 2011.7.29 東日本大震災 復興支援技術士データベース

おすすめ情報&更新情報

- 月刊『技術士』をWEBのみでの閲覧を希望する会員の方へ
- 救援募金を寄付させていただきました

会員専用ページ
会員番号
パスワード
ログインする
会員専用ページの内容
入会のおすすめ
パスワードを忘れた方

技術士ビジョン21

技術士プロフェッション宣言

技術士倫理綱領

Pe-CPDシステム

インターネット 32 32

How to keep your CPD record

CPDのWEB登録 (Pe-CPD) - Mozilla Firefox

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

CPDのWEB登録 (Pe-CPD)

https://www.engineer.or.jp/cpd2/cpds001.php

技術士登録番号: 9000099

氏名: 技術

CPD log sheet (Web version)

表示期間: 2013年 4月 ~ 2013年 5月 表示期間の変更

上欄の表示期間を変更後「表示期間の変更」ボタンを押すと、下欄の明細表示が対応して更新されます。

登録 & 修正 & 削除 表示 課題別集計 形態別集計 APEC集計 登録証明書

確認	事務	選択	No.	開始年月日 終了年月日	課題 項目	形態 区分	CPD名	主催者	CPDの内容	実 時間 (1)	重み 係数 (2)	CPD 時間 (1)×(2)	CPD 時間 累計
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	2012年10月20日 2012年10月20日	B-1	1 [100]	10月CPD○○ 講座	○○委員会	テーマ「○○○技術の 最前線」内容:「○○と ○○の計画 ○○○ 氏(○○大学○○科 ○○専攻 教授) / 「○○を対象とした○○ の実践的取り組み」 ○○○氏(日本 ○○(株) 代表取締役 社長)「○○における ○○手法」○○ ○氏 (○○技術士事務所 所長) / ○○における ○○の最新技術に関 する取り組みについて 学んだ	350	1.0	350	350
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							テーマ「○○○技術の 最前線」内容:「○○と ○○の計画 ○○○ 氏(○○大学○○科 ○○専攻 教授) /				

-IPEJ Member : Free

-IPEJ Non-member:JP¥8,000/FY

CPD Record														2011 Y 4 M ~ 2012 Y 3 M		PE Reg.No. 12345		Name Yamato Takumi			
No	From To	yy:mm:dd yy:mm:dd	Time	Sub.	Mode	CPD Title	Host	CPD Contents	Notes	Hrs	WF	CPD Hrs	CPD TTL hrs								
1	2011	4	5	14:00	A-4	1	Seminar on new Industry	IPEJ Elec. Engineer Group	Prof.Suzuki of Torano Univ. presented efficient solar power generator. Understand battery technology is key to store generated power.	2.8	1	2.8	2.8								
	2011	4	5	17:00																	
2	2011	5	2	10:00	A-11	5	Tokyo Playpark Land	Self Study	Visited Tokyo Playpark Land with my family, much of fun and deeply impressed by their customer satisfaction operation.	9	1	9	11.8								
	2011	5	2	19:00																	
3	2011	6	20	10:30	B-1	2-2	Paper presentation	Elec. Academy	My paper on new Alpha technology have been published on Elec. Academy Journal issue 123. Peer reviewed, 10 pages in total.	15	2	30	41.8								
	2011	6	20	10:30																	
4	2011	7	6	14:00	B-1	5-2	Filed patent application	Kamiyacho Elec. Co.	Filed Patent application on new circuit. Fundamental patent with my 3 colleagues after 1year R&D.	10	1	10	51.8								
	2011	7	6	14:00																	
5	2011	8	22	13:30	A-8	4-1	Manager's training session	Kamiyacho Elec. Co.	Gave a internal lecture on Project Management, with 50 audience middle management employee Emphasized to have widen knowledge on international market trend.	1.5	1	1.5	53.3								
	2011	8	22	15:00																	
6	2011	9	1	13:00	B-5	1	SME Biz Workshop	IPEJ	Attended at IPEJ's Workshop on Small business Innovation. Panel discussion by 3 entrepreneurs and 2 P.E.s was an eye opener in terms of fund raising experience.	4	1	4	57.3								
	2011	9	1	17:00																	
7	2012	2	2	10:00	B-1	6-5	Passed PE Exam (Information)	IPEJ	On top of my PEJp (Electronics), passed PEJp (Information). This will expand my future job carrier options.	10	1	10	67.3								
	2012	2	2	10:00																	
8	2011	10	1	9:00	B-1	5	Experience through business project	Kamiyacho Elec. Co.	Engaged in design work on our new model IP-634. Had a difficult to make it as small as possible, but new circuit solved the issue.	10	2	20	87.3								
	2011	11	30																		
9	2011	4	1	9:00	A-1	6-2	Special Committee Member	Elec. Academy	Nominated as Ethical Committee member of Elec. Academy and discussed code of conduct with other 6 members. Attended 10 meetings	10	1	10	97.3								
	2012	3	31	17:00																	
10	2011	4	1	9:00	B-4	6-5	Accident Case study	Self Study	Went through articles on IPEJ monthly magazines. Realized PDCA cycle was lack at XYZ plant accident.	3	1	3	100.3								
	2012	3	31	17:00																	

A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	A-9	A-10	A-11	1	2	3	4	5	6-1
10			2.8				1.5			9	6.8	30		1.5	39	
A TTL		B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B TTL		TTL		6-2	6-3	6-4	6-5	TTL	
23.3		70			3	4	77		100.3		10			13	100.3	



Social demand for CPD

- PE Act Article 47-2

(Responsibility to improve the capability of professional engineers)

Professional engineers shall at all times endeavor to improve their level of knowledge and skill with regard to his/her business, and endeavor to do self-improvement.



No penalty clause. Not doing so does not cancel your PE registration.

However

Social demands for CPD

Act on Promoting Quality Assurance in Public Works
April, 2005

- To secure public construction work quality, successful bidder is not “the cheapest one”.
- Comprehensive tender mechanism adopts “overall rating system”. Employee's CPD of the bidder is one of evaluation criteria.



Social demand for CPD

- IPEJ issues CPD Record Certificate to any P.E. who need the Certificate.
- Extent of CPD are not limited to IPEJ's official seminars / lecture courses.
- Self-learning may be recorded as CPD.
- CPD Log Sheet may be required as well as the CPD Record Certificate.
- Therefore, quality assurance of CPD is the KEY to keep social reliance on P.E.Jp.

第*****号

技術士 CPD 登録証明書

(氏名) 技術士 太郎	(技術部門)
(登録番号) *****	〇〇部門

対象期間： 2010年4月 ~ 2013年3月
 合計CPD時間： 177.5 CPD時間

課題別CPD時間：

課題区分	CPD時間
A 一般共通課題	120.5
B 技術課題	57.0
合 計	177.5

形態別CPD時間：

形態区分	CPD時間
1. 講習会、研修会、講演会、シンポジウム等への参加（受講）	102.5
2. 論文等・報告文などの発表、査読	30.0
3. 企業内研修（受講）	10.0
4. 研修会・講習会などの講師・修習技術者指導	0.0
5. 産業界における業務経験	15.0
6. 資格取得、委員会活動、大学等での研究開発、図書執筆、自己学習など	20.0
合 計	177.5

(注) 表中のCPD時間の内訳の合計は四捨五入のため合計欄の数値と一致しないことがあります。

あなたのCPDの実績については、本会に上記のとおり登録されていることを証明します。

*****年**月**日

公益社団法人日本技術士会 会長 〇〇 〇〇

Ver. 1.1

Social demand for CPD

- CPD quality assurance scheme -

■ CPD Membership

- CPD Certified Member
- Subject to Membership renewal

■ CPD Assessment

- Upon CPD Member registration
- When issuing CPD Record Certificate

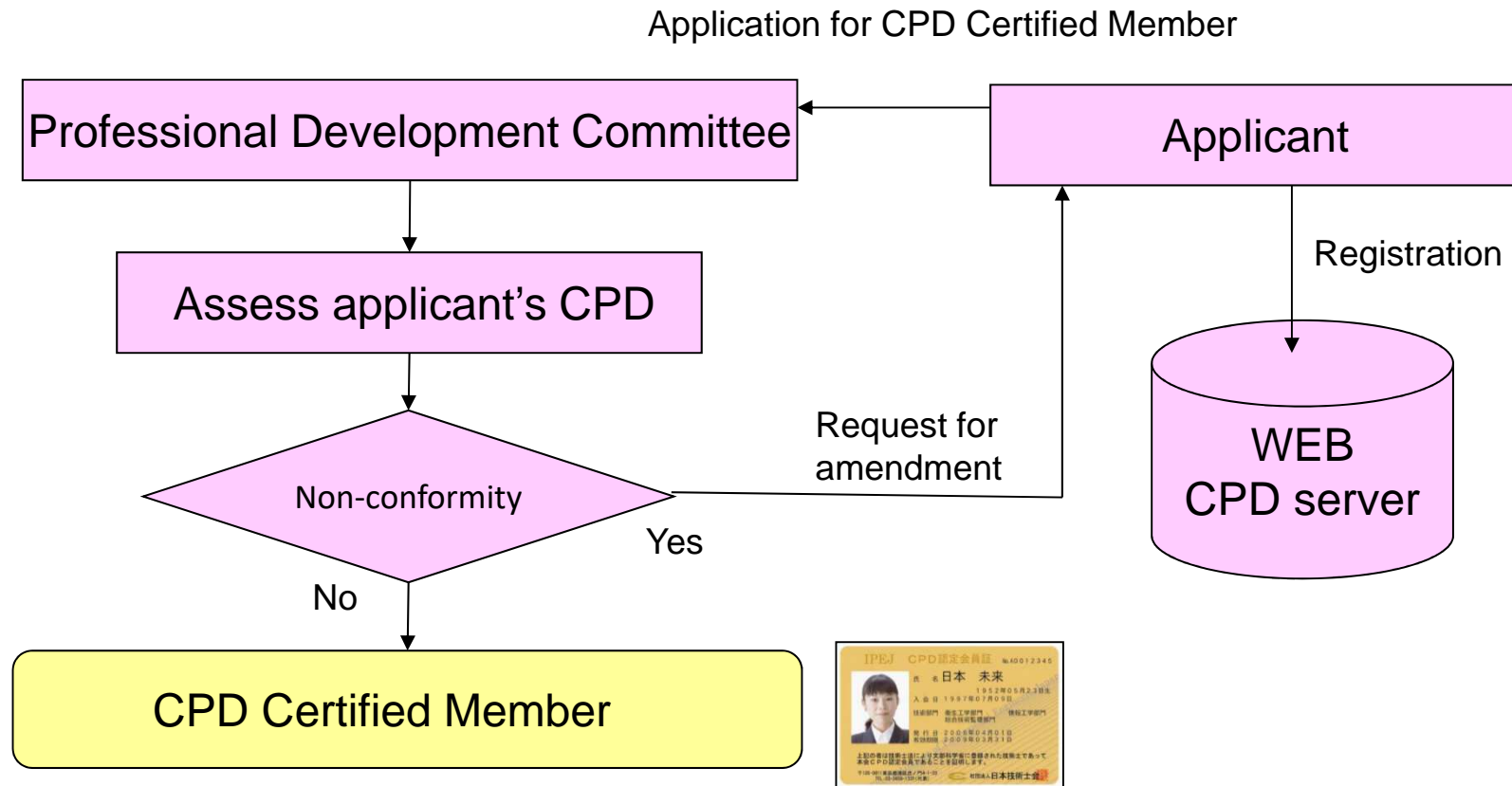
■ CPD Audit

- About 10% of CPD Certified Members are selected every year for evaluation of their CPD records

CPD Certified Member

- CPD records to be stored in IPEJ CPD WEB server
- CPD Assessment based on 3 fiscal year (April to March) + CPD record
- CPD Certified Member Admission Fee:
 - IPEJ member only: Application fee (JP¥ 3,000/3FY)
- CPD Registration Fee:
 - IPEJ member: free
 - Non-member: JP¥ 8,000/FY
- CPD Requirements:
 - (1) 150CPD hrs / 3FY
 - (2) 30CPD hrs / any one FY
 - (3) CPD Subject A: Minimum 2 subjects out of total 9 subjects, and
CPD Subject B: Minimum 1 out of total 5 subjects to be recorded
 - (4) Mode of CPD : At least 3 modes of CPD out of total 10 modes to be recorded
 - (5) Assessment on CPD records is made by CPD assessors.
- Valid for 3 years, subject to additional assessment upon renewal
- Subject to random audit ; 10% of registrant

CPD Certified Member

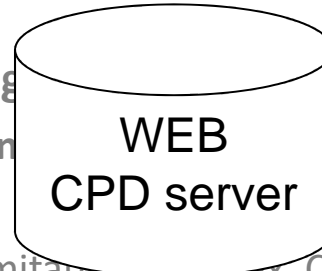


CPD assessment meeting

Rubric for CPD Record Keeping

- (1) Your business activity itself is not CPD
- (2) CPD Working Factor
- (3) Maximum CPD hours

- No.1: Lectures : No particular limitations on max. CPD hrs to record.
- No.2-(1): Verbal presentation at IPEJ seminars etc CPDWF2, No limit is set.
- No.2-(2): Paper presentation CPDWF 2 but up to 30CPD hrs/paper (with peer review), / up to 10CPD hrs/paper
- No.3 : Attended at in-house training (class room), 10CPD hrs/ FY (OJT)
- No.4-(1):Gave lecture / seminar (by college and institutions), (by private sector)
- No.4-(2):Technical instruction to students (/FY
- No.5-(1):Prize-winning engineering project manager : 20CPD hrs / project
- No.5-(2): Patent application : 40CPD hrs / app (Peripheral)
- No.6-(1): Technical certificate / award
- No.6-(2): Public committee member / committee
- No.6-(3): R&D contributions / International cooperation : 20 CPD hrs / project
- No.6-(4): Books on engineering: 15 CPD hrs / book (academic society), o/w 10 CPD hrs / book
- No.6-(5): Self learning : 10 CPD hrs / year



- (4) Achievements
- (5) Accountability

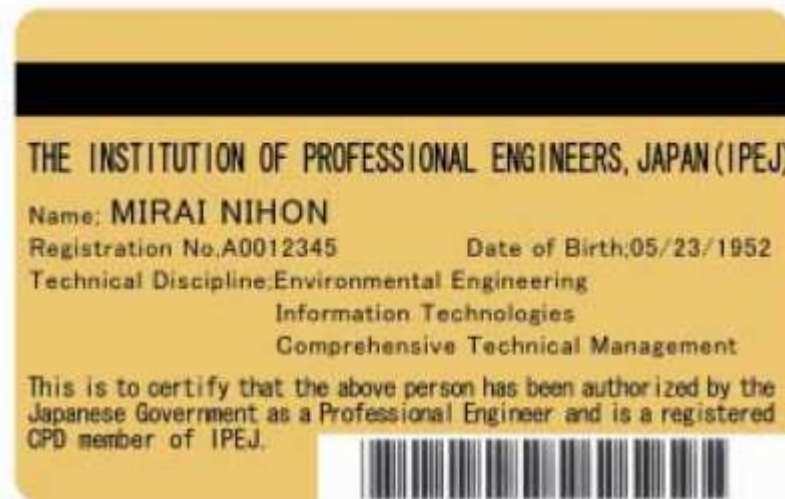


CPD Record														2011 Y 4 M ~ 2012 Y 3 M		PE Reg.No. 12345		Name Yamato Takumi			
No	From To	yy:mm:dd yy:mm:dd	Time	Sub.	Mode	CPD Title	Host	CPD Contents	Notes	Hrs	WF	CPD Hrs	CPD TTL hrs								
1	2011	4	5	14:00	A-4	1	Seminar on new Industry	IPEJ Elec. Engineer Group	Prof.Suzuki of Torano Univ. presented efficient solar power generator. Understand battery technology is key to store generated power.		2.8	1	2.8	2.8							
	2011	4	5	17:00																	
2	2011	5	2	10:00	A-11	5	Tokyo Playpark Land	Self Study	Visited Tokyo Playpark Land with my family, much of fun and deeply impressed by their customer satisfaction operation.	X	9	1	9	11.8							
	2011	5	2	19:00																	
3	2011	6	20	10:30	B-1	2-2	Paper presentation	Elec. Academy	My paper on new Alpha technology have been published on Elec. Academy Journal issue 123. Peer reviewed, 10 pages in total.		15	2	30	41.8							
	2011	6	20	10:30																	
4	2011	7	6	14:00	B-1	5-2	Filed patent application	Kamiyacho Elec. Co.	Filed Patent application on new circuit. Fundamental patent with my 3 colleagues after 1 year R&D.		10	1	10	51.8							
	2011	7	6	14:00																	
5	2011	8	22	13:30	A-8	4-1	Manager's training session	Kamiyacho Elec. Co.	Gave a internal lecture on Project Management, with 50 audience middle management employee Emphasized to have widen knowledge on international market trend.		1.5	1	1.5	53.3							
	2011	8	22	15:00																	
6	2011	9	1	13:00	B-5	1	SME Biz Workshop	IPEJ	Attended at IPEJ's Workshop on Small business Innovation. Panel discussion by 3 entrepreneurs and 2 P.E.s was an eye opener in terms of fund raising experience.		4	1	4	57.3							
	2011	9	1	17:00																	
7	2012	2	2	10:00	B-1	6-5	Passed PE Exam (Information)	IPEJ	On top of my PEJp (Electronics), passed PEJp (Information). This will expand my future job carrier options.		10	1	10	67.3							
	2012	2	2	10:00																	
8	2011	10	1	9:00	B-1	5	Experience through business project	Kamiyacho Elec. Co.	Engaged in design work on our new model IP-634. Had a difficult to make it as small as possible, but new circuit solved the issue.	X	10	2	20	87.3							
	2011	11	30																		
9	2011	4	1	9:00	A-1	6-2	Special Committee Member	Elec. Academy	Nominated as Ethical Committee member of Elec. Academy and discussed code of conduct with other 6 members. Attended 10 meetings		10	1	10	97.3							
	2012	3	31	17:00																	
10	2011	4	1	9:00	B-4	6-5	Accident Case study	Self Study	Went through articles on IPEJ monthly magazines. Realized PDCA cycle was lack at XYZ plant accident.		3	1	3	100.3							
	2012	3	31	17:00																	

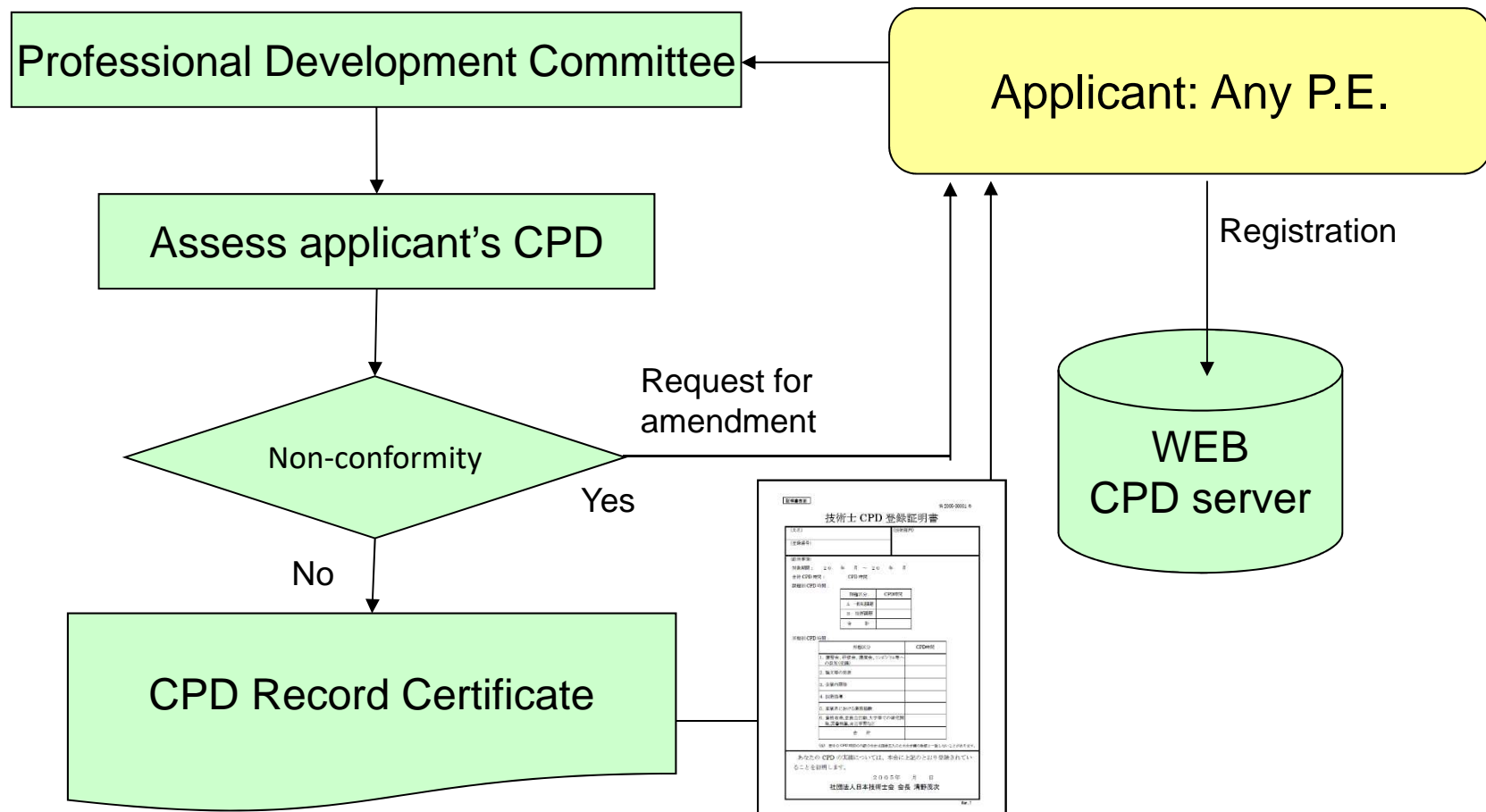
SAMPLE											1	2	3	4	5	6-1
A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	A-9	A-10	A-11	6.8	30		1.5	39	
A TTL		B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B TTL		TTL	6-2	6-3	6-4	6-5	TTL		
23.3		70			3	4	77		100.3	10			X 13	100.3		



CPD Certified Membership Card



CPD Record Certificate Assessment Procedure



CPD Record Certificate

- Upon receipt of application , IPEJ assess their latest CPD record and issue CPD Record Certificate if it is acceptable.
- Certification include applied CPD for latest 5 FY.
- Assessment shall be made for recorded CPD only in IPEJ WEB server.

第*****号

技術士 CPD 登録証明書

(氏名)	技術士 太郎	(技術部門)
(登録番号)	*****	〇〇部門

対象期間： 2010年4月 ~ 2013年3月
 合計CPD時間： 177.5 CPD時間
 課題別CPD時間：

課題区分	CPD時間
A 一般共通課題	120.5
B 技術課題	57.0
合計	177.5

形態別CPD時間：

形態区分	CPD時間
1. 講習会、研究会、講演会、Webセミナー等への参加（受講）	102.5
2. 論文等・報告文などの発表、査読	30.0
3. 企業内研修（受講）	10.0
4. 研究会・講習会などの講師・修習技術者指導	0.0
5. 産業界における業務経験	15.0
6. 資格取得、委員会活動、大学等での研究開発、図書執筆、自己学習など	20.0
合計	177.5

(注)表中のCPD時間の内訳の合計は四捨五入のため合計欄の数値と一致しないことがあります。

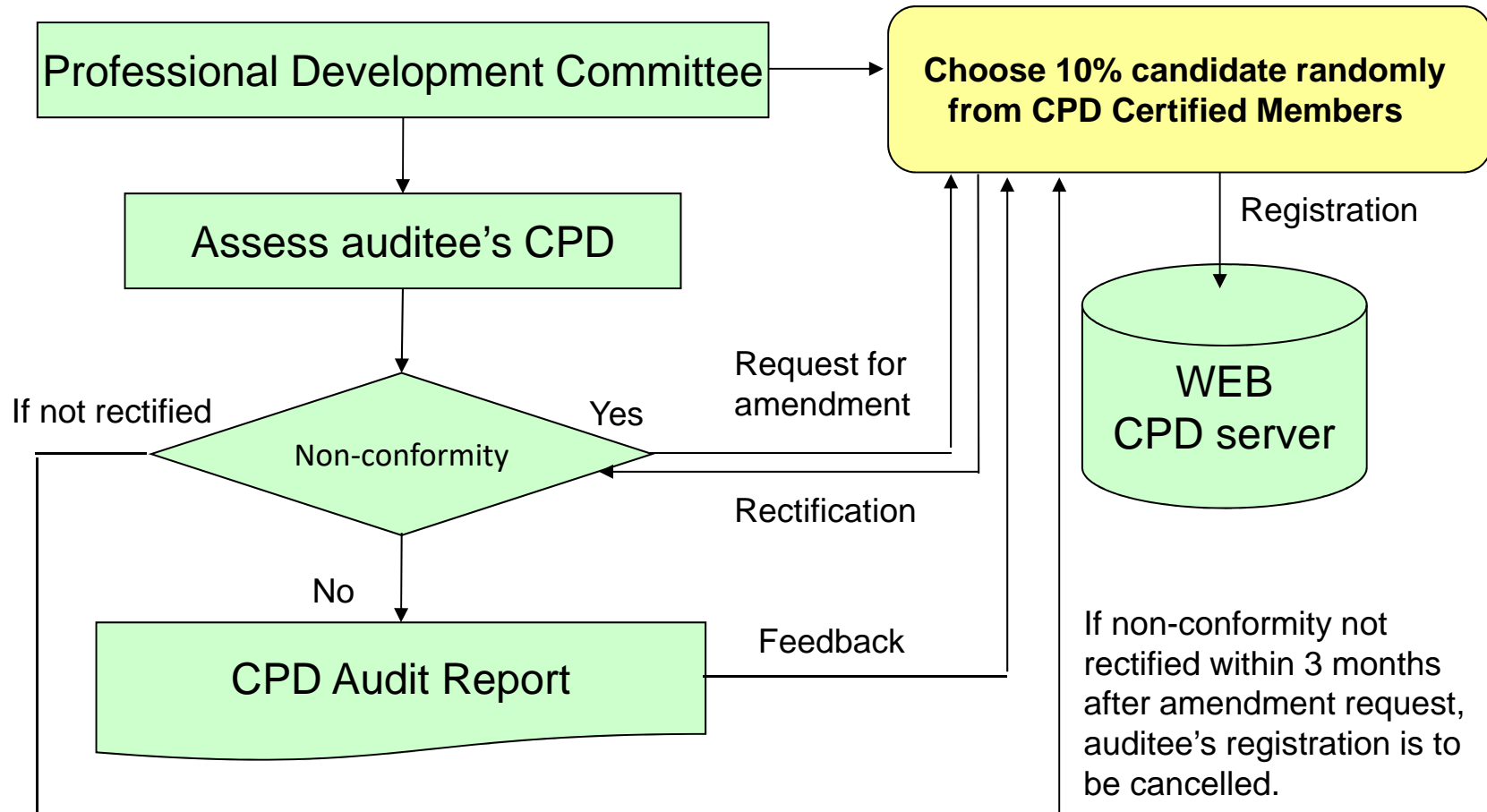
あなたのCPDの実績については、本会上記のとおり登録されていることを証明します。

*****年**月**日

公益社団法人日本技術士会 会長 〇〇 〇〇

Ver. 1.1

CPD Audit Procedure



Our support to EIT (Engineers in Training)

- Core competencies

Professional skill, Business operation skill, Code of conduct

- EIT Guidebook

- Offer Initial Professional Development (IPD) opportunities for EIT, Asso. PE and JABEE course graduates.

- Engineers ideal image
- Communication skill training
- Research presentations
- Career development seminar
- Engineers' ethics

Thank you !